

■温室効果ガス削減の目標

	削減目標（政府目標値）
2030年度	2013年度比 46%（1,597トン）以上
2050年度	カーボンニュートラル

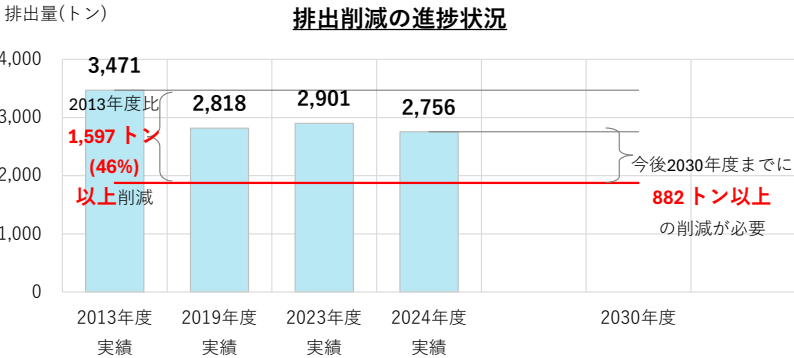
※ 2026年8月 2024年度温室効果ガス排出量(トン)について、数値に誤りが判明したため修正しました。

■温室効果ガス排出量の推移

小松空港の2024年度の温室効果ガス排出量は、2023年度比145トン減少の2,756トンである。
2030年度の削減目標（2013年度比46%以上の削減）の達成には、今後882トンの削減が必要である。

	温室効果ガス排出量(トン)			
	2013年度	2019年度	2023年度	2024年度
空港施設	3,094	2,577	2,659	2,515
空港車両	377	241	243	241
計	3,471	2,818	2,901	2,756

※小数点以下の端数処理により合計値が整合しないことがある



主に契約されている電力会社の排出係数…2019年度：0.527、2023年度：0.514、2024年度：0.496
空港全体の商用電力使用量(kWh)…2019年度：471.0万、2023年度：510.5万、2024年度：501.7万

■2020年度～2024年度の温室効果ガス排出量の増減背景

小松空港では、2020～2024年度にかけて、商用電力使用量が増加傾向であるのに対して、主に契約されている電力会社の排出係数は低下傾向にあり、温室効果ガス排出量はほぼ横ばいで推移している。この間、空港の利用（航空機運航回数や旅客数）はコロナ前の水準以下に留まっている。

■2020年度～2024年度の脱炭素化施策の取組状況

空港施設に係る取組	➤ 建築施設照明のLED化や省エネルギー運用等、空調の高効率熱源の導入、空調・換気の省エネルギー運用等の取組が行われた。 ➤ 航空灯火のLED化の取組が行われた。
空港車両に係る取組	➤ 電動車の導入が行われた。
再エネ導入促進に係る取組	（当該期間に新たに実施した取組に関する情報なし）
その他の取組	➤ 小松駅～小松空港間で自動運転のEVバスの試験運行が行われた。